hair stage

Jade

beautiful hair style & relaxing time

RING OF SMILE

Jadeの軌跡

～ 出逢いに感謝 ～

特集　巻頭インタビュー

～Ｊａｄｅの軌跡～

株式会社ＧＡＰＰ ｈａｉｒｓｔａｇｅＪａｄｅ　代表取締役　野村和哉

01 Ｊａｄｅを創った念い

株式会社ＧＡＰＰ ｈａｉｒｓｔａｇｅＪａｄｅ　代表取締役　野村和哉

人に歴史有り　逆境！その時、経営者は…

06 経営に近道はなし！

失敗に学んだ会社の未来とは？

株式会社ＧＡＰＰ ｈａｉｒｓｔａｇｅＪａｄｅ　代表取締役　野村和哉

～ヒューマンヒストリー～

09 それでも私は諦めない！

株式会社ＧＡＰＰ Ｊａｄｅ ｒｅｃｉｔ フロアマネージャー　中西　眞澄

13 女性として美容師として！

株式会社ＧＡＰＰ Ｊａｄｅ ｖｏｉｒ フロアマネージャー　樋口　美穂

17 ママさん美容師として大好きな仕事を続けたい！

株式会社ＧＡＰＰ Ｊａｄｅ ｔｅｍｐｓ フロアマネージャー　萱沼　裕実

21 Ｊａｄｅ ヒストリー（企業の沿革）

１９９９～現在　成長の鍵は歴史にあり！

22 創業の精神とこれからの念い！

株式会社ＧＡＰＰ ｈａｉｒｓｔａｇｅＪａｄｅ　代表取締役　野村和哉

『巻頭インタビュー』

～Ｊａｄｅの軌跡～物語から繋ぐ出逢い～

野村　和哉
株式会社ＧＡＰＰ　代表取締役

〝Ｊａｄｅを創った念い〟

ジェイドを創った念いとは・・・

少し遡りますが、独立願望というのか、『社長になりたい！』というのは、中学生の頃から漠然とあったんです。何の『社長』になりたいというのは、具体的に決まっていた訳ではありませんでしたが・・・

そこで、美容師になろうと思ったきっかけは、中学生の頃から、好奇心でよく自分の髪を染めてみたり、友達の髪を切ったりしていたこともあり、いつも行っていた散髪屋のおっちゃんに人生相談をしたら、『野村君は、美容師が向いてるんとちゃうか。』といわれて、その気になり美容師になろうと決めました。

私が独立する前に勤めていた美容室の社長が、経営者としても、ひとりの人間としても、とても尊敬できる方で、『自分もそのような社長になりたい！』とおもうようになり、更に独立心は強くなりました。そして、『27歳で自分の店をもつ！』という目標を定め、1999年 3月に、ジェイドを創業することに至りました。

ジェイドを創った念いは、『ご縁を大切にし、人を大事にする社風でありたい！』また、『お客さまと社員さん、そして、ジェイドに関わるすべての方々が幸せでありますように・・・』という念いを込めて創業しました。

店名の由来は、Jade(翡翠)という石から名付けたのですが、翡翠の石はパワーストーンで、『幸せ』という意味があるそうです。そこで、創業のおもいを店名に込めることにしました。また、翡翠はとてもキレイな緑色の石で、『幸福の色』ともいわれているので、ガラス張りで白と緑を基調とした内外装のお店にしました。

店名前の由来は？

まず最初に一店舗の時は、ヘアステージ ジェイドという店名からのスタートとなります。ジェイドというロゴの前に、ヘアステージと付けた理由は、お客さまやお店で働いてくれている社員さんが、テレビや映画などでいう歌手の方や俳優さんのように、一段上のステージに上がり、煌々と照らすスポットライトをカンカンに浴び注目されて、一人ひとりが、『キラキラ輝いているイメージ』を想像してつけました。

創業20 周年を目前に執念の出店！

1999年 3月の創業から、二店舗目の出店迄の道のりは、もちろん色々ありましたが、その中でも何とか 5年後に叶い順調な流れで来れました。しかし、三店舗目の出店に至る迄には、相当な現実を幾度となく突き付けられたことを決して忘れることはありません。

一番の課題は、『人』でした・・・

やはり、『企業は人なり！』という言葉通りに、人なくして発展はないということを強く身に沁みました。そこから出店に向けて求人に力を入れていましたが、2007年頃を境に、即戦力である中途採用の募集は、今迄のように人力は強くなかったのですが、予想以上に人の動きがないことに危機感を感じました。

そこで新卒採用を積極的に行いましたが、直ぐには成果につながらず、試行錯誤を繰り返したもののおもうようにはいきませんでした。

2004年 3月、創業から 5年目、ついに念願の二店舗目をオープンすることとなりました。二店舗目を出店できるようになったのは、一号店の社員さんが一生懸命にがんばってくれ、またオープン当初から、ジェイドにご来店くださっていたお客さまが応援してくれ、次に進むための道をつくってくれたので、そのおもいを店名に込めたく、新たに一号店の店名を ジェイド レシー（幸せな物語）と改名しました。そして、二店舗目は、それらを通じて、新しい地域で、新しい社員さんとお客さまとの『幸せな出逢い』がありますようにというおもいを込めて、ジェイド ボ ワール（幸せな出逢い）と名づけることにしました。

なぜ、おもうようにいかないのか・・・

それは、人を集めたい一心で、外にばかり目を向け過ぎて、内(社内)に目を向けることの大切さに気づいていなかったからでした。

今いてくれている社員さんが、自分の会社に誇りをもち、心から満足してくれるお店でない限り、これから社員さんになってくれる人は見つからないということに気づき、先ずは環境整備に力を入れることにしました。

そうすると不思議と人が集まるようになり、ついに2018年12月、二店舗目の出店から14年9ヶ月、創業から19年9ヶ月、創業20周年を前に、三店舗目を出店することとなりました。

店名は、ジェイド テンプス(幸せな時間)と名付けることにしました。創業から約20年という歴史の中、お客さまと社員さんと共に歩んだ幸せな時間が、新たな門出となり、また更なる飛躍へとつながりますように・・・

美容を通じての自己理念は・・・

美容師という職業の最大の魅力である良いところは、とにかく『人との出逢い』がたくさんあり、その出逢いを通じて色んなことに気づかされ勉強させていただけることです。それが、この職業を全うする上での醍醐味でもあり、素晴らしさだと感じています。

だからこそ、この美容師という職業を通じて、私自身が常に大切にしていることは、人との出逢いから様々な気づきや学びを活かして、自分を磨き、自らが、『魅力的な人間』になることです。自分自身が、どんな時でも常に輝き、魅力的な人間でいることが、美容を通じての自己理念と私は考えています。

また、それらの考え方を含めて、私自身が一個人として掲げている一生涯を通じてのビジョンは、『心の大富豪』になることです。

これは、永遠のテーマとして、私が目指し続けていくものです。

これからジェイドは何を目指すのか…

株式会社GAPPの企業理念は、『魅力ある人づくりと店づくり』と掲げています。そして、ジェイドが目指すものは、『行きたいお店ナンバーワン　働きたいお店ナンバーワン』であり、お客さまと社員さんの心の底から湧く最高の笑顔がいっぱいの会社です。魅力的な人が集まれば、そこは魅力的なお店となり、そして働く社員さんが会社に誇りをもつことで、お客さまや美容学生さんがたくさん集まると考えています。

美容室に限らず、これからの企業経営において、社員さんと一丸となり集中して取り組むべきことは、大きく二つあるかと考えています。

一つ目は、人材の確保(求人力)です。この人材の確保を行う上で大切なことは『選ばれる会社』になることです。そのためには、『美容室経営の近代化』というキーワードが、大きくカギを握るかと感じています。これは、今までの美容室経営の良い文化を守りつつ、イノベーションをしていくという意味です。具体的には、労働環境の整備や待遇面、そして、社員さんが働きやすい環境づくりを目指すことです。

二つ目は、人財の育成(育てる力)です。一つ目の人材の確保における定期採用を行うには、この人財の育成は、必要不可欠ともいえます。つまり、この二つは、別々に行うのではなく、同時進行であり、融合的関係と考えています。

これらは、企業の命題である『永続』を成し得るために、最重要視しなければならないことであると強く感じている次第です。

人に歴史あり

逆境！

逆境！　その時、経営者は・・・

経営に近道はなし！
失敗に学んだ未来とは？

1999年 3月 10日　当時、私が 27歳の時に、大阪の枚方市、京阪交野線沿いにある星ヶ丘という駅前に、hair stage Jade(ヘアステージ ジェイド)をオープンすることになりました。当初は私を含めての、6名でスタートをしました。とてもありがたいことに、オープン日から連日、たくさんのお客さまにご来店して頂き、お店は大繁盛でした。

しかし、お店が大繁盛している傍ら、働いてくれている社員さんは、連日の忙しさもあり、精神的にも体力的にも限界の状態が続いていたようで、クタクタな状況でした。独立を最高のスタートにするためには、「まだまだ！」というおもいで、とにかくがむしゃらに意気込み、周りに目をくれることなく、気がつけばただただ突っ走るという日々が半年ほど経っていました。

私は社員さんとのコミュニケーションが、しっかりとれていない状態で、「まだまだ！」という私のおもいから、社員さんにたくさんの負担をかけてしまい、互いの間に取り返しのつかない溝が深く入っていることに気がつかず、創業時に想い描いたとおり、『お客さまと社員さん、そしてジェイドに関わる全ての人を幸せにする』そんな会社を創る！という念い一心で走り続けたにも拘らず、ついにオープンから半年間で、共にがんばってくれていた社員さんは、一人として残らず退社することとなり、私一人での営業が、約２ヶ月間ほど続きました。

その時に、『おもい』は伝えなければ、伝わらない！ということ。また、『おもい』は共感で、より強く大きな、『念い』になるということを学んだ気がします。今まで経営をしていて、売上が上がっているけど、人がいない時、また、売上が下がっていて、人がいる時がありました。今おもえば、人がいない時の方が辛くて、しんどかったです。人こそが財産であり、「人がいてくれたら何とかなる！」「人がいてくれたら、未来に夢を描ける！」

『困ったとき、お金は何とか借りることができても、人だけは直ぐに借りることができない』と・・・

そうとても感じました・・・

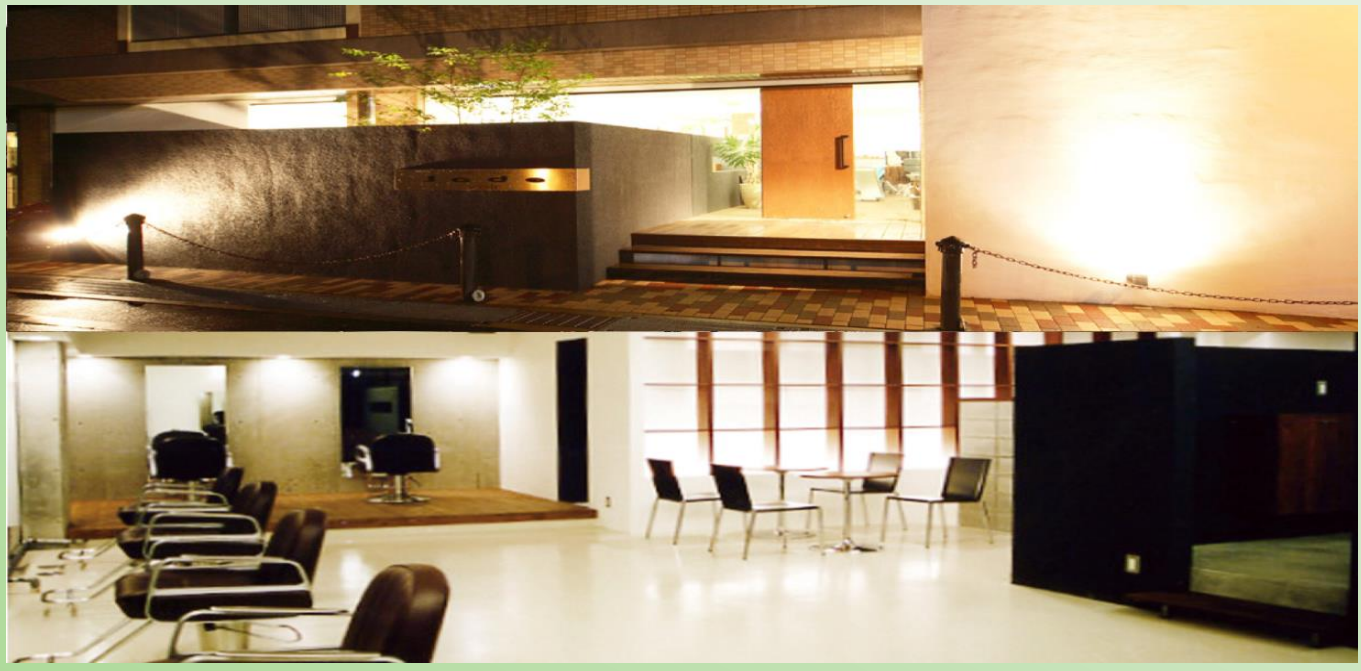
人がいなくて、お金が手元にあっても未来が観えなかった・・・「人がたくさんいたら・・・」「知恵を絞って、みんで協力し合えたら・・・」もっともっと色んなことができると夢が膨らんだ。

だから・・・
人がいなかったことが辛かった・・・

それからも、人の出入りはしばらく続くが、今はっきりといえることは・・・

『やめていく社員さんに私は育ててもらい、そして、残ってくれている社員さんが私を強くしてくれ、いっぽ前に踏み出す勇気をくれた。』

今は、たくさんの人が集まる会社へと成長しつつあります。今があるのも、人との出逢いからたくさんの気づきと学びがあったからと心から感じています。これからも『人なくして、未来はない！』というおもいをもち続け、『人を大事にする社風』という考えに、ブレのない経営をし、地域に愛され、社会に必要とされ続ける永続企業を目指し、日々精進していきます。。



それでも私は諦めない！

美容師という職業を自分で選択し、Jadeと出逢い 沢山の経験と挫折を繰り返した。

株式会社 GAPP　Jade recit
フロアマネージャー
中西　眞澄
MASUMI　NAKANISH

美容師をなぜ選んだか…

実は私、美容師になる前は、電気工事関係の仕事をしていたんです。個々の仕事が割り当てられているので、人と接するということが殆どありませんでした。

そこで、いつしかもっとたくさんの人と関われるような仕事がしたいとおもうようになりました。また、以前から「色んな人の笑顔がたくさん見れるような仕事につければいいな」という考えもあり、おもいきって美容師という職業を選びました。この職業を選択したことで、私の人生は大きく変わることとなりました。

Human History

なりたかった美容師像は、今叶っていますか？

いつもお客さまに接しているんですけど、特にスタイリストになってからは、たくさんのお客さまと関わることによって、凄く喜んでいただけていることが、ダイレクトに実感できるので、人の笑顔がたくさん見れる仕事を選んだことにより、なりたかった美容師像に近づいていると おもいます。**『美容師になって、本当によかったです。』**

店長になる前となってからでは、気持ちの変化はありましたか？

やっぱり凄く変わりましたね。

店長になる前の私は、責任感がまだ弱いなっておもっていました。今おもい返せば、上司に頼ってしまっている所が多々あったように感じます。それが、店長になることで、少しずつ責任感が芽生えていくようになりました。

店長は何をしなければいけないかを常に考えていましたね。とにかく、何とかしないといけないというおもいから、ついつい何でも自分でしなければいけないという気持ちの焦りがありました。現状の分析や数字の把握、行動計画など・・・ それが、しばらくしてからは、パートナーのことも、今まで以上に見れるようになりました。そして、今、一番におもうことは、**『コミュニケーション』**がいかに大切であるかを学ぶことができたことです。

レシーをどんなお店にしたいですか？

これは今凄く考えていることで、まず一つ目は、パートナー一人ひとりが責任感をもって、レシーというお店を大好きになってもらい、自分たちが、どんな風にしたらお客さまに喜んでもらえるのかを常に考え、それらを自分の意見として何でも言い合えるようなチームワークのあるお店にしていきたいです。そして、二つ目は、お客さまにパートナー全員の名前を覚えてもらえるような、『インパクト』のあるお店にしていきたいとおもっています。

とにかく、私自身が店長として、パートナー一人ひとりが、毎日、『イキイキ』と心から楽しく仕事ができ、働きやすい職場環境をつくること。そして、お客さまも含め、レシーというお店に、たくさんの笑顔が集まるよう常に心がけていきます。

美容師としての今は…

これから、今いているパートナーがスタイリストに上がってくるので、全員が自分の実力を発揮できるように、アドバイスができるリーダーになりたいのが一つあります。

もう一つは、近い将来には現場から離れてハサミをおき、パートナー全員と関われるような人になりたいし、一人ひとりの夢を叶えてあげられるような人になりたいのが今の夢です。

Human History

今迄で、一番悩んだことは？

悩んだ事は、働きながら通信課程で美容学校に通い、この業界に入り、不器用なことも相まって、営業に入ってもできることがないことに自分自身とても驚きました。周りの先輩は、どんどんできることが増えていく中、レッスンもおもうように合格することができず、毎日悔しいおもいを感じていました。しかし、そんな中でも新しいことを覚えて、できるようになることが楽しみにもなりました。『できるまでの段階が僕にとって一番辛かった』ことになります。

その壁をどのように乗り越えたのですか？

僕は、23歳から美容の世界に入り、自分の中でも「プライド」がありましたが、まずは、そのプライドを捨てることから始めました。プライドを捨て、素直に聴いて実行しました。そして、自分の変化に気づいたのは、２００４年　３月の二店舗目立ち上げメンバーに選ばれたことです。

オープニングメンバーの上司になることになり、人に伝える難しさや、自分で考えることの大切さを学ぶことができたと感じます。そして、自分の自信に少しずつ繋がっていったのではないかとおもいます。今おもい返せば、がむしゃらに自分が今すべきことと向き合い、集中したことが、自然と壁を乗り越えれたのではないかとおもいます。他にももっと色々な壁があるとはおもうんですが、まずは、自分自身の第一段階の成長はそこだと思います。たぶん一番あの時期が、すごく大きな壁ではないかと今もおもいます。

女性として美容師として

今を大切にして、自身と周りの幸せを創りたい・・・

株式会社 GAPP　Jade voir
フロアマネージャー
樋口　美穂
MIHO　HIGUTI

美容師になってよかった事は？

最初は仕事って、「やらなきゃいけないこと」とおもっていたので、どちらかというと楽しいというより、しんどいというイメージの方が強くありました。自分自身が決めた職業ということもあるのですが、実際のところ、正直、時には大変なこともあり、何度も挫けそうになりました。そんな中、今改めて美容師になって良かったことは、それらを乗り越え、今は、とにかく毎日が楽しく、笑顔で仕事ができていることです。また、今まで続けてこれた理由は、もちろん毎日が楽しいということもあるのですが、何より人生において、凄く成長できたこと。仕事を通じて、価値観や、ものの見方が大きく変化したことが、美容師になって良かったとおもうことです。

Human History

大変だったことは何ですか？

実は私、人間関係で悩んだことがなくて、周りの人に、とても恵まれているなって、今も感じています。技術を習得するにあたって、自信がもてない時期があり、正直いって自信のないままお客さまに入客したりしていたので、その頃は、しんどいと感じることばかりでした。その原因も自分では分かっていました。『自信がつくまで、レッスンをしてこなかった』からですね。当時は、楽しさより、プレッシャーの方が多かったような気がします。

店長になる前と今の気持ちの大きな変化は何ですか？

最初、自分自身が美容師として活躍するにあたって目指すゴールが店長ではありませんでした。憧れはありませんでしたが、チャンスをいただき、店長を任せていただくことになりました。理想の店長に、きちんとならなくてはいけないとおもって、背伸びをして前に進めない状況が何年も続きました。自分らしく、『店長』をすればいいと、頭では分かっていても、それがおもうようになかなかできませんでした。理想の店長にもなれず・・・ 自分らしく、やることも・・・

でもある時に気づいたんです。自分の周りには、いつも支えてくれるパートナーがついてくれている。自分ひとりで悩みを抱え込まず、自分ひとりで何でもするのではなく、みんなで力を合わせることの大切さに・・・ それも店長の仕事だということ。今はとにかく自分らしく『店長』というポジションを楽しみます。

Human History

女性スタイリストとして意識していることは？

とにかく、常に美意識を高くもつことが一番で、美に対する情報収集をたくさん行うこと。そして何より、『自分自身がキレイでいること』をいつも心がけています。

何故ならそれは、自分自身がキレイでいるということは、『女性としての人生が、より楽しくなる』ことだとおもっているからです。

パートナーの存在とは？

必要不可欠の存在です。本当に私にとって、『かけがえのない大切な存在』だなと、つくづく感じています。もし、みんながいなかったら、今の私はいないし、ジェイドにいてないかもしれません。これは、本当にいつもおもうんですが、私は人に恵まれているなと感じます。

上司と部下の存在とは…

まず上司は、私のお父さん、お兄ちゃん的な存在です。だから頼っちゃうんですけど…　いつも方向修正をしてくれて、導いてくれる存在ですかね。とても器が大きい上司が多いので、答えを教えるのではなく、いつもヒントをくれ、導いていただいています。

部下は一番成長させていただいてる存在です。部下の考えや言葉を聴き、感じて、私自身が大きく成長できたということはもちろん、自分の中で考えが変わったのは、部下が私を信じて、側に居てくれたから、成長できたとおもいます。

美容師としての最終ゴールとは？

美容師としての最終ゴールは、一生ないと思います。どんどん自分が成長するとともに、どんどん目標がでてくるので、目標達成して終わることは一生ありません。

ゴールではありませんが、イメージしているのは、成長の階段ですね。一歩ずつ上がってるという感じです。今、店長をさせていただいて、これが一番じゃない！　まだ階段は登りきっていなくて、頂上ではないとおもっていますし、今はまだ、どういう形になるかは分かりませんが、役職とかランクでいうと、上になってしまうかもしれないけど、店長と一括りにいっても、つまり色んな店長がいるわけで、私の中でもっともっと上の人、色んな意味での店長といわれる人がいる限り、私に美容師としての最終ゴールはないですね。

最後に…これからの美容業界はどうあるべきか？

今までの美容室は、こうしないとダメとか、美容師はこうでないといけないと決まった枠にとらわれていたかと感じます。これからは型破りといったら言葉はおかしいですが、今までとは少し違う、型にはまらない、美容提供の仕方や学び方、そして、美容業界で働く人がより働きやすくなることで、美容師になりたいという人が増え、やがては、美容業界全体が活性化することにつながっていくとおもいます。

ママさん美容師として…

大好きな美容師をずっと続けていきたい・・・

株式会社 GAPP　Jade temps
フロアマネージャー
萱沼　裕実
HIROMI　KAYANUMA

ママさん美容師のやりがいは？

まず最初に私は美容専門学校を卒業した後に、半年間メイクの専門学校に通い、もともとジェイドにはお客さんとして行っていたこともあり、そのご縁もあって、ジェイドの二店舗目出店の際にオープニングメンバーとして入社することになりました。

それから約５年後に結婚をし、出産することになりましたが、ママになってからのモノの見方や捉え方、感じ方が良い方向に変わり、とても充実しています。美容師としての仕事も最高ですが、ママも最高です。子育てをされているお客さまのおもいを共有することもでき、ライフスタイルに合ったご提案もしやすくなりました。

Human History

仕事と家庭の両立について教えて下さい…

産休と育休をいただいてから復帰後は、子供のお迎えもあるので夕方5時迄の勤務にしてもらいました。ジェイドでは妊娠中から育児中の現在に至る迄、周りの方たちがサポートしてくれているおかげで、大好きな仕事も育児も全力で両立することができています。保育園に預けられない時は、社長の奥さんが子供を見てくれます(笑)。そういった周りのご支援もあり、職場では美容師、家に帰ったらママに徹しているので、メリハリがあり楽しく過ごせています。

ママさん店長として掲げる理想のお店とは…

まず最初に三店舗目(テンプス)出店の話が本格的に決まり、社長から店長として任命をいただいたのは、復帰してから半年後のことでした。正直まだ子供も小さく不安もありましたが、もともと私自身が独立願望もあったので、チャンスと捉え引き受けることになりました。

そして、テンプスのオープン準備にあたり、お店の内外装の打合せにも携わらせていただき、セット椅子やシャンプー台、装飾品の買い出しにも同行させていただき、自分が任されるお店を、自分の意見を優先的に取り入れてくれることで更にやる気になっていきました。

私が理想とするお店は、ジェイド テンプス(幸せな時間)の名前の由来どおり、ご来店いただくお客さまはもちろん、一緒に働くパートナーにも『幸せな時間』を過ごしてもらいたいとおもっています。

Human History

そのためには、お客さまに対してもパートナーに対しても、できる限り多くのコミュニケーションをとり、相手のことを知りたいと思います。例えば、入社一年目のパートナーから幹部に至る迄の全員が、自分の意見や気持ちなどを遠慮することなく、何でもいえるような環境のお店にしていきたいとおもっています。そして、一人ひとりの良いところを褒め、その子らしさを引き出してあげ、『自分を発揮できるような関係性』を大切にしていきたいと考えています。とにかく、毎日お客さまを含め、全員がキラキラ輝けるようなお店にしていきたいです。

そして、女性なら誰もが憧れる『幸せ』な結婚と出産をしても、私のように一つのお店を任してもらえたり、パートや短時間での働き方など、どんどん会社に提案し女性が働きやすい環境にしていきたいと考えています。

大好きな美容師と大切な育児を両立していける。そんなお店にしていきたいです。

Human History

最後に…
ジェイドで学んだこと…

私は、ジェイドに入社させていただいてからたくさんのことを学ばせてもらいましたが、一番は、『人の大切さ』です。お客さま、そして何より一緒に働くパートナーを大切にすること。一番長く一緒にいるパートナーをおもいやれることができなければ、お客さまを大切にすることもできません。『人を大事にする』ということを学び、その考え方に共感しています。

Jade の歴史

1999年	03月	1店舗目(recit)を枚方市星ヶ丘にオープン
1999年	11月	現エリアマネージャーの平松が入社
2001年	10月	現フロアマネージャーの中西が入社
2004年	03月	2店舗目(voir)を交野市森北にオープン 現フロアマネージャーの樋口が入社 現フロアマネージャーの萱沼が入社
2007年	03月	recit店　リニューアルオープン
2010年	04月	現チーフの井平・日野が入社
2016年	04月	工藤・榎本が入社
	11月	山田が入社
2017年	03月	杉山が入社
	04月	向井・山岡・松本・松内が入社
2018年	04月	中田・貝出・森・大門が入社
2018年	11月	3店舗目(temps)を交野市森北にオープン

出逢いに感謝！

～創業の精神とこれからの念い～

１９９９年 3月 10日、枚方市にある星ヶ丘という街に hair-stage Jade（現Jade rec-it）が誕生しました。『ご縁を大切にし、人を大事にする社風でありたい！』『お客様と社員さん、そして関わるすべての方々が幸せでありますように・・・』という念いを店名に込め、Jadeの基本理念を『出逢いに感謝し幸せの共感』と掲げ、ご来店いただくお客さま、そしてともに働く社員さんの『心の底から湧く最高の笑顔がいっぱいの会社』を必ずつくる！という強い覚悟をもっての創業となります。また、創業 15年を節目とし、２０１４年 8月度には法人化に伴い、社名を株式会社 GAPPと命名し、今までの歴史をもとに更に企業としての進化を遂げるため、覚悟と決意を持って挑戦することとなりました。

株式会社 GAPPの企業理念は『魅力ある人づくりと店づくり』と掲げ、社名の頭文字一つひとつには、すべて意味が込められています。G：グレティチュード(感謝) A：アフェクション(愛情) P：プリスティン(素直) P：プライオリティー(優先)
また、これら 3つを人事理念とし、周りの人に対して感謝力・愛情・素直な心をもって健全な人間関係を築くための人財育成基盤として最重要視しています。
今期２０１９年 3月度をもって、創業 20周年を迎えることとなりましたが、これも日頃より Jadeを応援してくださるお客さまと関係業者さま、そして何より Jadeで共に働く社員の皆さまのお陰によるものと心より感謝の気持ちでいっぱいです。私といたしましては、冒頭にある創業の精神は今現在でも変わらぬ誓いとなっています。

3年後のビジョン

これから迎える『輝く未来』でもある3年後のビジョンは『お客様と社員さんの心の底から湧く最高の笑顔がいっぱいの会社！～行きたいお店 ナンバーワン 働きたいお店 ナンバーワン～』の実現です！

10年後のビジョンは『世界一社員さんが幸せを実感できる会社』の実現です！
そのためには、私を筆頭に社員さん一人ひとりが理念を深く理解し、理念通りの生き方を実践していくことが最も大事となります。

また、ご縁という必然な出逢いを通じ、人を大事にし、人に光を当て、人を活かし、地域に愛され、社会に必要とされ続ける永続企業を目指すことが大切となります。

最後に…

Jadeは、人生の目的である『幸せ』を掴むために誕生した会社です。
自らが選択し、自らが決断したこの仕事に心から誇りをもち、自らに秘められた無限の可能性を信じ、自らの底知れぬ潜在能力を開花させ、自らの力をもって人生の道を切り拓き、共に輝く未来に向かって突き進んで参りましょう！

株式会社 GAPP
代表取締役　野村和哉